

な情報を収集し、社内で共有することで商品化へと繋げる取り組みを進めてまいりました。

**Q** 新中期経営計画『KENKO Value Action ~価値の創造~』の概要について教えてください。

新中期経営計画『KENKO Value Action ~価値の創造~』は、これまで積み上げてきた『KENKO Five Code 2015-2017』での取り組みを発展させながら、原点に立ち戻り、当社グループの企業理念を基本方針として進めてまいります。

『KENKO Value Action ~価値の創造~』では、「CSV経営」を経営の中核に据え、社会と企業の双方に価値を生み出す企業活動『共通価値の創造』に取り組んでまいります。地域と社会、環境と資源を切り口として各方面に対して様々な取り組みを行うことで、企業価値を向上させ、新たな価値を創造することで“サラダNo.1企業”として成長・発展しつづけることを目指してまいります。

『KENKO Value Action ~価値の創造~』の中核となる「CSV経営」では、以下の5つのテーマを定めております。

- ① 地域貢献
- ② 環境・資源
- ③ サプライチェーン
- ④ ソリューション
- ⑤ 働き方

5つの「CSV経営」のテーマを今期からの3か年の中核に据えながら、①お客様と共にビジネスを創造、②“創り・応え・拡げる”生産体制、③サラダ料理を世界へ という3つの事業戦略を進めてまいります。

現在、当社グループでは4つの工場の増設・

新工場建設を進めております。4つの工場は2019年3月までに稼働を予定しており、生産体制の強化と生産能力の平準化を図り、増大する需要に応える安定供給に着実に取り組んでまいります。

	工場/連結子会社	主な生産予定品目
増設	静岡富士山工場	卵焼き製品
	西日本工場	ロングライフサラダ
新工場建設	(株)ダイエツクック白老	日配のフレッシュ総菜・和惣菜、冷凍品
	(株)関東ダイエツクック 神奈川工場	日配のフレッシュ総菜・和惣菜等

このような事業戦略・設備投資のもと、新中期経営計画『KENKO Value Action ~価値の創造~』を推し進め、2020年度の目標として連結売上高850億円、連結経常利益46億円を目指してまいります。

**Q** 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

外食・中食業界における人手不足の深刻化により、ロングライフサラダのような調理の簡略化を図れる製品のニーズが年々高まっています。また、単身世帯・核家族の増加や、女性の就業化の加速により、中食需要は今後も拡大が見込まれるなど、当社が主軸を置く業務用食品市場は、良くも悪くも様々な時代の変化の影響を受けています。

こうした多様な社会的ニーズにきめ細かく応えていくことが、次世代に向けた成長につながるものと考えております。これからも積極的な商品開発とメニュー提案を一層充実させて、食を取り巻く課題を解決しながら価値を創造し、社会に認められ、求められる企業として存在感を高めていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、我々の新しい挑戦に、引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 新中期経営計画

# KENKO Value Action

## ～価値の創造～

これまでの取り組みを発展させながら、原点に立ち戻り、当社グループの企業理念「食を通じて世の中に貢献する。」を基本方針として進めてまいります。

### CSV経営 (Creating Shared Value) 『共通価値の創造』

5つのテーマ



3つの事業戦略

- ① お客様と共にビジネスを創造 お客様の抱える課題に対して、当社の「商品・メニュー提案力」「情報発信力」等のノウハウを活かし、共に課題解決に取り組む
- ② “創り・応え・拡げる”生産体制 お客様を支える安定した商品供給体制の構築
- ③ サラダ料理を世界へ 様々な取り組みによりサラダ料理を世界に向けて提案・拡販・発信

ケンコーマヨネーズグループが目指す姿

“サラダNo.1企業”として  
成長・発展しつづける

2020年度目標 ■ 連結売上高…850億円 ■ 連結経常利益…46億円